

## 平成22年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	88	学校名	結城第二高等学校				課程	定時制	学校長名	菅谷 清						
教頭名	高橋 郷史		木村 益巳						事務(室)長名	山口 裕子						
教職員数	教諭	21	養護教諭	2	常勤講師	7	非常勤講師	15	実習教諭, ALT	3	事務職員	3	技術職員等	6	計	61
生徒数	課程・学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	定時制普通科	38	68	36	51	35	30			109	149	9				

## 2 目指す学校像

<p>これまでの学校生活で個性・能力を適切に発揮できなかった生徒たちに対して、「人とつながるオンリーワン、みんなが資源、みんなで支援」を基調とし、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 個に応じた指導を通し、向上心を高め、自己実現を目指せる学校</li> <li>2 自己肯定感を培い、自他を理解・受容し、社会性をはぐくめる学校</li> <li>3 地域社会と連携し、いつでもだれでも学べる、地域に開かれた学校</li> <li>4 生徒との信頼関係を基盤に、教師自らが資質・能力の向上を図れる学校</li> </ol>
---

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現 状 分 析	課 題
学 習 指 導	まじめな態度で授業に臨み、指示に従って学習活動に取り組んでいるが、基礎学力不足の生徒が多く見られる。	基礎学力の向上を図り、意欲的に学習活動に取り組めるようにするとともに、三部制における学校行事の在り方をいかにするか。
生 徒 指 導	自己肯定感の希薄さや対面コミュニケーションスキル不足、規範意識や自律的生活習慣の未確立に起因する課題が目立つ。反社会的問題行動の発生や中途退学者数は減少している。	健やかな成長の基礎となる自己肯定感や、規範意識・自律的生活習慣の形成をいかに継続して図っていくか。 また、社会的に自立した個人として成長し、他者や地域社会とともに生きていけるように、いかに指導・支援を継続するか。
進 路 指 導	一部には進路意識の高い生徒もいるが、多くは進路（将来の職業も含む）について十分に考えるに至っていない。また、進路実現に必要な能力が不十分である。	個に応じた指導に取り組むことにより、いかに進路意識の向上を図るか。また、進路実現に必要な能力を育成する指導体制をいかに確立するか。
特 別 活 動	三部制・単位制のため生徒の登校時間がまちまちであり、学校行事の運営が困難である。	学校行事に、どうすればより多くの生徒が参加できるようになるか。
教育相談活動	友人関係の問題、不安感、家庭における問題、学習に関する劣等感、生活リズムの乱れ、不登校等何らかの問題を抱えている生徒が大半である。	生徒一人一人の問題を正確に把握し、いかに教職員の共通理解や関係機関との連携を図るか。また、いかに問題の解決に向けて生徒の支援ができるか。

## 4 中期的目標

1	心の居場所となる学校，安全で安心して通える学校を目指し，学習環境の維持改善を図り，生徒が意欲的に学ぶ態度の育成に努める。
2	規範意識の高揚，自律的生活習慣の向上に努めるとともに教育相談体制の充実を図る。
3	組織的にキャリア教育を推進し，生徒の自己実現を支援する。
4	豊かな人間関係を形成できる学校行事，部活動，ボランティア活動などの特別活動を推進する。
5	地域から信頼され，支援される，開かれた学校づくりの定着を図る。

## 5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基礎学力の向上，主体的・意欲的学習態度の育成	① 授業形態を工夫する。 ② 個に応じた指導を実践する。 ③ 生徒が主体的・意欲的に学習に取り組めるような指導を実践する。 ④ 生徒が自己学力の伸長を確認し，学習意欲につながる指導を実践する。
規範意識の醸成，自律的生活習慣の確立及び社会貢献できる豊かな人間性の育成	⑤ 自己肯定感を高め，自律的生活習慣を確立するなど，健やかな成長の基礎形成を徹底する。 ⑥ 規範意識を培うための取り組みを徹底する。 ⑦ 安全教育を推進する。 ⑧ 社会奉仕体験活動を充実させ，地域と連携した多様な活動を推進する。 ⑨ 豊かな心育成のための取り組みを推進する。
進路意識の向上及び進路実現に必要な能力の育成	⑩ キャリア教育を積極的に推進し，社会性や職業観を養う。 ⑪ 進路ガイダンスの充実や適切な進路情報を提供することで，進路意識を向上させる。 ⑫ 多様な生徒に対応した指導に取り組み，生徒の主体的な進路選択や進路実現を図る。
結城二高生としての一体感を感じる ことのできる特別活動の実践	⑬ 多くの生徒が参加できる学校行事を企画・運営する。 ⑭ 学校行事や部活動を通して，生徒の主体性や積極性を引き出す。
組織的な相談体制づくりと個に応じた対応	⑮ 研修会等を通して個々の教職員のスキルアップを図る。 ⑯ スクールカウンセラー，キャンパスエイド及び関係職員が連携協力し，組織的な支援体制の充実を図る。 ⑰ 心身の健康の状態を的確に把握し，必要に応じて関係諸機関とも連携し，個に応じた適切な対応をとる。
開かれた学校づくりと地域との連携の推進	⑱ 中学校や地域住民に対し，理解をより深めてもらうための情報を発信する。 ⑲ 地域からの信頼・支援，教育力を得るための取り組みを推進する。